

第3学年 学年通信

令和5年6月23日 第14号

学年目標

結実～努力が実を結ぶ～

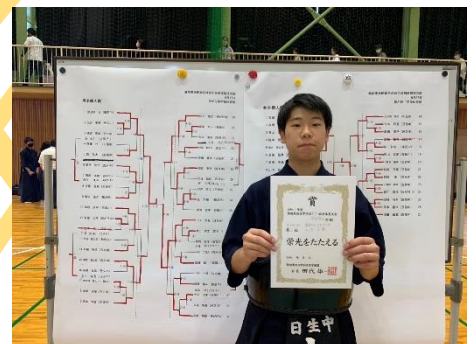
3年間のすべてをぶつけた「備前東地区夏季総体」！

前回の学年通信でもお伝えした「備前東地区総体」ですが、天候にも恵まれ(恵まれすぎて熱中症が心配でしたが…)、大きなトラブルもなく無事に終えることができました。選手たちは、きっとこれまでの努力を全て発揮して、チームメイトと共に全力を出し切ったと信じています。

とは言っても、「練習通りに動けなかった」、「結果がついてこなかった」と残念に思っている人も少なくないでしょう。そういった気持ちも十分にわかります。松井が引率したソフトテニス部のメンバーも「100%の力を出し切って、練習と同じように動けて、その上で納得する試合だった。」と胸を張って大会を終えた人は多くはないように見受けられました。勝負の世界ですから、勝つ人がいれば負ける人もいます。当然のことです。しかし、「悔いなく終わることができる」ためには「技術」や「結果」がすべてではありません。それまでの「準備や練習」、当日までの「気持ち」の持って行き方、まわりの人への「感謝」の気持ちなどが、実は大きな割合を占めていることはみんなも知っています。

それでも「悔いが残るなあ」という人は、それはそれでいい経験だと思います。それを糧に、これからの人生でのそれぞれの場面で、どのように準備していけばいいかを考えるきっかけになると思うからです。中学校3年生は人生における1つの通過点ですが、「中学校最後の年」、「義務教育最後の年」、「進路決定の年」であり、様々な選択を迫られる時期です。そのタイミングで「悔いを残さないようにする」ために、今自分が何をすべきか考えて、こつこつ着実に準備していきましょう。

また、この大会で岡山県総合体育大会への出場を決めた選手がいたり、まだ試合が残っているために引退せず活動を続ける人がいたりするなど、まだまだ部活動を頑張っている人がいます。すでに引退をしている人もそうでない人も、これからの学校生活でさらに一丸となっているような活動に取り組めるといいですね。



生徒会活動も頑張っています！！

1学期も終盤に差し掛かっていますが、3年生が中心となって活動している「生徒会活動」も活発に行っています。

文化委員会主催の「しんしんノートチェック」は本日で最後となります。毎日のしんしんタイムで記録するノートの点検を司書の先生がします。また、生徒会本部主催の「ペットボトルキャップの回収」は、回収したキャップで発展途上国の子どもたちのためにワクチンを提供することができます。26日(月)で最後なので、土日でペットボトル飲料などを飲んだ人は、ぜひ協力してください。学級委員長会主催の「Grow Up Week」は授業態度チェックを行い、テスト期間に合わせてより集中して授業を受けることができるように呼びかけを行っています。来週30日からは、環境委員会主催の「カストーディアル杯」が始まります。生徒会本部、各委員会がより良い学校づくりのために意見を出し合い、取組を考えて行っています。委員会に所属していない人も、積極的に活動に取り組んでおり、そういった場面でも「最高学年として自覚を持って努力しているな」と感じます。これからも、活動の一つひとつをどんな目的で行っているのか意識しながら頑張らしましょう！

